

## 壮年会新会長就任のご挨拶



この度、来年度より壮年会会長を務めさせて頂く事になりました。就任に当たりまして、まず7年にわたり壮年会にご尽力されました石井会長にお礼を申し上げます。

私は、壮年会に入会して約15年になります。今年度までは副会長を務めていましたが、石井会長に全てお任せして、副会長としての務めは微々たるものでした。今回、多田羅、村田、盛田諸氏の副会長および理事の方々にご協力を頂き会長に就任させて頂くことになりました。多田羅氏は会長の経験もありご指導を頂けるものと期待し、また会員各

位のお力添えを頂きまして壮年会のお役に立てるよう尽力致します。現在は壮年会に新しく加入する方や若い方が少なく、継続を心配する声もありますが、多くの方が活動して、またお寺にお参りし、仏法を聴いて頂けるような壮年会にしていきたいと思っております。

石井会長を見習い、副会長3名と理事の方々と協力して活気ある壮年会になるように、そして皆様に満足して頂けるような会長になれるように、微力ながら精励して参ります。今後とも会員の皆様のご理解、ご協力、ご意見をお願い申し上げて、ご挨拶と致します。合掌 (山奥 務 記)

### ことばの成り立ち

### 日常で使われている「仏教用語集」

**●愛別離苦** (仏教でいう「八苦」のうちの一つ)  
親子、兄弟姉妹、夫婦など愛しいむつみあっている者同士が、生別死別を問わず、別れることになる苦しみや悲しみ、この世のはかなさを言ったもの。

**●安心立命**  
天命に身を任せて、心を安らかに保ち、つまらないことに動じないこと。

**●以心伝心** (禅宗のことば)  
言葉を交わさなくとも、無言のうちに互いの思っている事や考えていること、気持ちが通じあうこと。

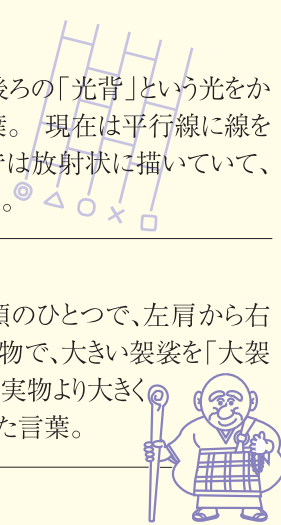
**●台無し**  
仏像は蓮の台座が無いとせっかくの仏像も威厳がなくなってしまうこと。すっかりダメになる事、めっちゃくちゃになる事。



**●あみだくじ**  
阿弥陀という仏様の頭の後ろの「光背」という光をかたどった飾りからできた言葉。現在は平行線に線を引く方法が一般的だが、昔は放射状に描いていて、これが光背にそっくりだった。

**●大袈裟**  
「袈裟」は僧侶が着る衣類のひとつで、左肩から右腕にかけて衣の上をおおう物で、大きい袈裟を「大袈裟」と云った。それを着ると実物より大きく立派に見えることから出来た言葉。

**●しっぺ返し**  
「しっぺ」は「しっぺい」と呼ぶ竹製の平たい棒のこと。座禅を組んだ時に、師匠が弟子に気合いを入れる為に使った道具。打たれていた者も修行を積めば打つ側に立つ事ができる事から、やり返すとの意味で使用。



# 壮年会だより

平成30年12月 冬号 中原寺仏教壮年会だより Vol. 26



先日のお報恩講法話の中で、大安、友引、仏滅などの六曜についてお話がありました。親鸞聖人はもちろん迷信を否定されているのですが、お釈迦様はどうおっしゃったか。「瑞兆ずいしょうの占い、天変地異の占い、夢占い、相の占いを完全にやめ、吉凶の判断をともにすてた修行者は、正しく世の中を遍歴するであろう」『ブツダのことば』岩波文庫、76頁とありました。仏様の智慧をいただくべく来年も聴聞を続けましょう。

## 【住・職・閑・話】



ここ数年、映画館に足を運ぶということがめっきり少なくなりました。たまに行くとしても自分が興味のある映画ではなく、子どもと一緒にアニメ映画(これはこれで結構楽しめますが…)がほとんどです。

先日、久しぶりに都内映画館にて「教誨師きょうかいし」という作品を見に行きました。

教誨師とは、刑務所や少年院等の矯正施設において、被収容者の希望に応じて宗教の教義に基づいた宗教教誨活動(宗教行事、礼拝、面接、講話等)を行う宗教家のことで、この作品は今年2月に亡くなられた大杉漣さんの最後の主演作となりました。

この映画の中で、大量殺人を犯した自己中心的な死刑囚が「知能の低いやつを選んで殺したんだよ」と自分の行為を正当化するシーンがあります。

2016年に起きた相模原市の障がい者施設における殺傷事件を彷彿とさせるセリフですが、この死刑囚は自分の物差しにおいて他者を裁いたのです。

彼にとっての物差しとは「いかに世の中に役に立つか、周りに迷惑をかけていないか」、すなわち「生産性」でした。生産性が他のものより落ちるのだから、社会のために殺しても構わないという論理が彼のなかに出来上がってしまったのです。



殺人という罪を犯さないまでも、生産性によって人の価値を測るという行為は一般社会で頻繁に行われていることです。役に立つか、立たないかで相手を評価し、「あの人は使える(使えない)」という表現をするようになりました。

相手を評価するということは、自分もまた他者より評価されているということでもあり、私たちのいる社会においては互いに互いを評価し、裁きながら生きているということになります。

しかし、どんなに有能な人でも、いずれ生産性が落ちるときがやってきます。自分のことが出来るだけでなく、周囲の人を助けている人も、時がたてば自分のことすらままならなくなるのです。

すべての人が老病死のなかに人生を終えていかなければなりません。生産性がゼロになって終えていくその命をダメな人生、ムダな人生といえるでしょうか。

この命を決して評価することなく、裁くことなく、比較することなく、そのままに受け止めてくださるのが阿弥陀さまのお慈悲のおこころです。

優劣、有無、老若の価値観で生きてきた私のもの見かたが転換され、この私に「いのちの解放とよろこび」を与えてくださるのが仏教であります。

## 平成31年1月～平成31年4月 壮年会行事

### 1月の行事

1日(火) 8時 元旦修正会・ご流盃の儀  
20日(日) 13時 常例法座 / 講師：相倉 学法師  
27日(日) 13時半 壮年会理事会  
14時半 壮年会 年次総会  
新年会 ※当日、年会費を受付けます。

### 2月の行事

9日(土) 15時 壮年会法座  
17日(日) 13時 常例法座 / 講師：渡邊 恒行師

### 3月の行事

21日(木) 祝日 13時 宿縁廟法座  
13時半 春季彼岸会法要

### 4月の行事

7日(日) 10時半 花まつり  
13時半 壮年会・婦人会 合同法座  
21日(日) 10時 入門式  
13時 常例法座 / 講師：熊原 博文師

## 中原寺仏教壮年会平成30年度活動を振り返って



今年度は、1月28日(日)に平成30年度の壮年会年次総会から始まり、年6回の法座(内2回は婦人会との合同法座)を開催し、勉強をしてまいりました。

中原寺の年間行事等にも参加し、会員の皆様のお手伝いを得て、無事一年間予定していた行事は滞りなく終了できました。

壮年会の個々の行事も計画通り終了できました。また東京教区千葉組仏教壮年会関係の行事等にも積極的に参加をしてまいりました。ただし、6月の中原寺杯グラウンドゴルフと天真寺さんとのグラウンドゴルフ交流会は、残念ながら天候不順で中止となりました。

本年の親鸞聖人御旧跡参拝旅行も6月3日～4日に新潟

方面に、多数の参加者を得まして開催出来ましたこと、有り難うございました。

「壮年会だより」も年3回発行して、編集委員には大変ご苦勞をお掛けしましたが、大変立派な仕上がりで感謝しております。私は今年度ももちまして退任させていただき、来年度より新しいリーダーのもとにスタートすることになりました。これからはますます壮年会が発展することを願っております。

7年間、会長としての私を支えて下さいました皆様にお礼を申し上げますと共に、お身体には十分ご注意をしていただければと願っております。

長い間、大変お世話様でございました、7年間ご協力に感謝申し上げます。簡単ですが今年度の報告とさせていただきます。合掌 (石井 保 記)

## 編集後記(壮年会だより：平成30年12月「冬号」会報)

早いもので今年も終りです。“平成”も来年の4月で終りです。新しい年号がどうであれ、わが親鸞浄土教は不滅です!! ちょっとオーバーですか? 来年もよろしく。皆さまの投稿をお待ちしております!!